



絶滅危惧種  
京丹後のハヤブサ

# ハヤブサ

ニュース  
No.43

発行 米軍Xバンド レーダー基地反対・京都連絡会

連絡先 〒602-8347 京都市上京区四番町121-5 大湾 宗則

電話&FAX 075-467-4437

郵便振込口座 00950-9-303127 名義 京都連絡会

## 「京都連絡会」第六回総会 & 「近畿連絡会」旗びらき

2020年2月9日（日） 会場・京都府部落解放センター四階ホール

開場 12時30分 13時～15時30分 参加費無料

どなたでも参加できますが、投票権は会員に限らせていただきます。

### 「京都連絡会」総会の内容 13:00～15:30

2018年度闘いの映像と活動報告

総括と方針 会計報告と予算 役員改選など

### 「近畿連絡会」旗開きの内容 16:00～18:00

参加費1500円（飲食代を含む）

永井友昭さんや近畿各府県から代表が参加

どなたでも参加できます。

手造りの料理・お酒の持ち寄り大歓迎！

問い合わせ・ご連絡は事務局まで 090-1590-9469（山本純）

どに全力で取り組んできました。しかし、基地撤去の展望を切りひらいていくことは容易なことではありません。そればかりか、昨年から今年にかけては米軍・防衛省による相次ぐ約束破りや日米合同での基地防護訓練など、許しがたい事態が進行してきました。朝鮮半島・東アジア情勢もまた、この年末から年始にかけて大きく流動していこうとしています。東アジアの軍事的緊張が再び高まり、安倍政権は憲法改悪・自衛隊の本格的な海外派兵へと突き進もうとしています。昨年10月の徴用工裁判の韓国大法院判決をめぐる韓国への経済制裁や連帯労組関生支部への大弾圧は、これと一体のものです。

私たちは第六回総会をもってこれまでの5年間の闘いを総括し、新しい闘いの方針を確立していきたいと思えます。総会は、会員の皆さんが京都連絡会の基調や方針について直接意見を提起し、議論を行い、闘いをより豊かなものとしていくための年に一度の貴重な機会です。

ぜひご参加ください。そして、新年旗開きを近畿各府県の仲間とともに成功させ、元気一杯に新しい年の闘いに向かいたいと思えます。

寒風のなか辺野古新基地建設阻止をはじめ全国各地で反基地闘争を闘う仲間、格差と貧困の強制に対決し、人らしく生きられる社会をめざして闘う全国の仲間、サード配備に反対して不屈の闘いを続ける韓国の星州・金泉の仲間、憲法改悪・自衛隊の海外派兵と闘う全国の闘いに連帯し、ともに安倍政権の打倒に向けて前進していきましょう。そして、今なお獄中に勾留されている関生支部の仲間を何としても奪い返し、戦後史を画する大弾圧に対する反転攻勢を切りひらいていきましょう。事務局長 山本純

### 2019年度 総会風景



会員の皆さんに京都連絡会第六回総会と2020年の近畿連絡会の新年旗開きへのご参加を呼びかけます。私たちの米軍Xバンドレーダー基地建設反対・基地撤去に向けた闘いはいよいよ6年目を迎えます。この一年、京都連絡会／近畿連絡会は、6月と11月の現地総決起集会、月に二度の京丹後展開、街なかビラ配布、近畿中部防衛局や京都府・京丹後市への抗議申し入れな

## 12/3安和海上大行動・陸上での連帯 集会・歩行順法闘争報告

No Base ! & No X Band Radar 派遣団 南野



海上のカヌーチームに連帯のコールをする陸上集会

12/3 海上大行動が始まる前に 8:00 からの棧橋入口前での順法歩行に参加し、ドンドン参加者が増えて 50 人以上が歩道を覆うほどになり、ダンプはなかなか入れず、機動隊が規制に入った。機動隊はダンプの幅だけ開けて歩道に壁を作り、1 信号 1 台通させて、それ以外は解除の繰り返し。運搬船がないので、ダンプの搬入した赤土は、棧橋内の広場にストック=積み置かれていく。10:15 には、各地島ぐるみも到着し始めた。

解ったことは、海上大行動で運搬船がカヌーに包囲され身動きが取れなくなることを恐れて防衛局は、運搬船への積載を諦め、琉球セメントの通常月 1 回の業務であるセメント製造の為に石炭貨物船を棧橋に接岸し、予定を 1 週間早め、12/1、12/2、12/3 と石炭の搬入を始めた。ダンプから赤土土砂を構内にストックすることで、実質的な搬入作業を進める、という魂胆と解った。

それで、海上チームは、既に早朝から、カヌーなどを運んでいたの、海上大行動のデモンストレーションはやる、ということになった。カヌー 66 艘、抗議船 2 艘、ボート 3 艘など海上全体で 80 名(参加者数は主催者発表、以下同じ)が海上大行動に参加した。海岸から 100m の海上に勢ぞろいしたカヌーチーム、-抗議船、ボートなどのすぐ正面、階段状の浜で、11:00 から、連帯集会を海陸が向き合う形で開始された(11:00 から入口前の順法歩行も昼休み入りし、全員浜へ移動した)。

集会はヘリ基地反対協主催、オール沖縄後援で開催された。陸の参加者は 150 名、海陸合わせて 230 名が運搬船への積載-搬出から 1 年目のこの日、埋立阻止の海陸連帯と団結を確かめ合った。陸上の司会は反対協傘下の二見以北 10

区の会の浦島悦子さん、海上は、抗議船から反対協事務局長の仲本興真さん。主催者挨拶を反対協共同代表の安次富浩さんが「私達の闘いは勝てる闘いだ。諦めずに埋立を阻止しよう。」と訴えた。連帯挨拶は、オール沖縄共同代表の稲嶺進さんが「こうした闘いで工事は 1.1%も進んでいない。今日の闘いも 1 日遅らせている。この積み重ねが大事です。」とアピール。

南部島尻を代表していとまん島ぐるみ、中部を代表してうるま島ぐるみ、沖縄市民会議、北部を代表して、本部町島ぐるみが「安倍政権の埋立計画は軟弱地盤で破産しており、闘いが破産を突きつけてきた」とそれぞれ報告と闘う決意を述べ、海上行動との連帯と感謝を明らかにした。カヌーチームは沖縄からの 2 人が決意を述べる。土砂搬出阻止全国協の阿部悦子さんが西日本各地と沖縄各地での搬出阻止の各地行政への働きかけ、署名運動などの取組を報告した。最後に、安倍政権への痛烈な批判の替え歌ヒットパレードを全員で歌い、コールを挙げて 12:20 に締めくくった。

午後は再び、入口前での順法歩行を再開し、40 名で 15:30 までダンプの搬入を遅らせる。陸の連帯集会に来ていた 150 名がそのまま全員順法歩行に参加してくれていれば、どれだけ強かったことか。そこが課題でもある。搬入した赤土はダンプ 2000 台分以上も置かれている。運搬船に積み込めないし、コンベアが使えないから。12/4 以降にこれが運搬船に積載される。防衛局は争いを避けて実利を取った。海上大行動を如何に恐れていたかが解る。こういう形で海上行動設定自身が意味を持った結果となった。

反対協カヌーチームとオール沖縄共同の海陸大行動という取組が安和でも行われたことは、今後の辺野古基地建設阻止闘争に大きな意味を持っている。オール沖縄・各地島ぐるみ会議やヘリ基地反対協・平和市民連絡会などが情勢を切り拓く闘争方針を出し、実行することが大切であり、私達は全国でそれを支え応援して行こう。土砂投下開始の 12/14 にも大浦湾で海上行動があり、第 3 木曜日のシュワブ座り込み集中行動日の 12/19 など、今後は第 3 木曜日を軸に、現地での取組があれば連帯した行動を取り組もう。連帯行動をもって現地の闘いに応え、支えよう。共に闘おう!

追伸: 12/4 ペシャワル会現地代表の中村哲さんから 5 名が何者かに襲撃され虐殺された。シュワブゲート前では、12/4 3 度の座り込み開始前に、彼のなした仕事を会員が紹介し、連帯し、引き継ぐことを誓い、黙とうした。



## 12/3 沖縄・安和棧橋「海と陸」 呼応した闘いに京都で連帯デモ

『辺野古埋め立て反対! 京都実行委員会』 増野



河原町を南下するデモ隊

## オスプレイ4機を使用した 日米合同軍事演習に抗議! あいば野で反対集会&デモ

池田



住吉公園から出発するデモ隊

『辺野古埋め立て反対! 京都実行委員会』の呼びかけで行われた「12・3 安和海上大行動連帯! 京都デモ」は、「老朽原発うごかすなりレーデモ」から「転戦」してこられた方々も含めて50名ジャストの参加をいただきました。

デモ出発に当たって実行委員会大湾代表から「沖縄県民はあきらめていない。私たちもあきらめない、新基地建設阻止まで闘おう」と呼びかけがあり、続いて安和棧橋で土砂投入阻止のため現地派遣されている南野さんからスマホで届いた現地報告を代読しました。(2ページ参照)

続いて実行委員会参加団体からアピールがあり、デモに出発しました。

河原町通の人通りはやや少なめに感じましたが、横断幕やプラカードへの注目がいつもより多かったようです。スマホで撮っている方も中国の方ではなく日本人と思しき方が何人もいらっしゃいました。

現地報告にありましたように、海上大行動も海陸あわせて230名(主催者発表は不詳)が結集し、防衛局は事前に土砂搬出中止を決定していた模様です。人が集まれば止められるのです。

沖縄現地の行動に呼応しての連帯行動は、その情報把握が難しくどうしても準備期間が短くなり、大規模な取組とはならないきらいがありますが、今後とも辺野古新基地建設反対の取り組みを続けていきたいと考えておりますので、みなさんのご参加・ご協力よろしくお祈りいたします。

11月30日、翌日から滋賀県の陸上自衛隊饗庭野(あいはの)演習場で開始される日米合同軍事演習に抗議する集会・デモが取り組まれ、京都連絡会からも参加しました。

主催は饗庭野に平和を!近畿ネットワークと平和フォーラム関西ブロックで、様々な取り組みが重なる中でのこの緊急の呼びかけにもかかわらず、約200人が演習場がある滋賀県高島市に集まりました。

饗庭野演習場での日米合同軍事演習はこれが今年二回目。このかん二年に一度ほどのペースだったことを考えると、日米の軍事一体化の進行を思わせる事態です。今回の演習はオスプレイの長距離機動訓練を含み、国分台(香川)、日本原(岡山)、明野(三重)での演習と連動したものとして行われました。

饗庭野演習場では、昨年11月には迫撃砲の実弾が、今年9月には照明弾の部品が、近隣の民有地に流弾・流落する事故が立て続けに起こりました。集会ではこれらの問題の根本的な解明・対策も行われないまま軍事演習の実施を急ぐ米軍と安倍政権に対する憤りが相次いで表明されました。

京丹後からは米軍基地建設を憂う宇川有志の会の永井友昭事務局長が参加。先立っておこなわれた米軍基地いらんちゃフェスタ2019が多くの人々の参加で成功したことを報告するとともに、米軍・防衛省による相次ぐ「約束違反」を弾劾し、米軍Xバンドレーダー基地反対運動への連帯を訴えました。



## 京丹後 訪問活動 報告

12月17日(火) 8:30  
8人で京都出発。

この日は今年最後の訪問活動ということで宇川区へのビラ配布と島津区の軍属宿舎前に立てさせていただいている「京都/近畿連絡会」の看板周辺の草刈りも行いました。

特に最近、「安安連」の会議で区長たちから「仲良くやっている米軍に失礼だ」との批判が出ているとのこと。しっかり管理していることを示す必要がありました。来年1月は、17日(金)28日(火)に予定しています。ご協力お願いします。連絡先 080-8327-5588 滝川まで



### 訃報

会員の落合祥堯さんが亡くなりました。

12月17日、葬儀がありお見送りしました。

ご冥福をお祈り申し上げます。

2019年2月 辺野古代表派遣団として現地へ  
左 落合祥堯さん 右 南野真左衛門さん

## 京都連絡会 1月例会

1月23日(木) 18時30分

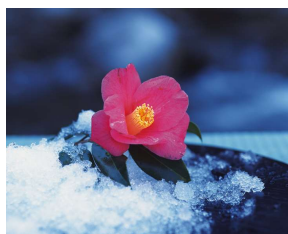
きょうとユニオン 二階会議室

地下鉄・九条下車(九条通り竹田街道東へ5分)

テーマ 日韓基本条約・請求権協定批判

講師 大湾宗則氏(共同代表)

## 「街なかピラ」の報告



第87回 11月21日(木)

「東寺」周辺 8人

第88回 12月9日(月)

竹田久保町周辺 5人

### <街の人の声> (東寺周辺)

- ◇ Xバンド基地知ってるよ。抑止力で必要だ。
- ◇ 基地はとんでもない! <年配の夫婦>
- ◇ 「がんばってや」と声を掛けてくれる人が多かった。※ 縁日ですごい人出、受け取りも抜群。持参したピラは完配した。

### (竹田久保町周辺)

- ◇ 「北朝鮮」の事を考えたら米軍基地は必要
  - ◇ 「共産党か?」と聞く人が4人も。「ご苦労さん」と言われる人も。
- ※ 龍大生は殆ど受け取らない。自転車の人が多くピラが渡せない。

### 次回の「街なかピラ」の案内です。

第90回 1月9日(木) 11:00~12:00

JR二条駅周辺 集合場所 JR二条駅西側

第91回 1月21日(火) 11:00~12:00

西大路七条周辺

集合場所:市バス「西大路七条」停前。

(京都駅から205番で)

お忙しいでしょうがご都合の付く方は是非ご参加ください。090-5672-1597(白井)

## 大いにおしゃべりしましょう・・・ 恒例 冬の大ゆんたく

12月21日(土) 13:30開場 14:00開演

京都府部落解放センター 大ホール

費用 2,000円(障がい者割引あり)

会員手作りの料理が用意されます。

公演 川口真由美さんとおもちゃ楽団

主催 No Base! 沖縄とつながる京都の会

「京都連絡会」は12月例会を振り替えて参加します。  
連絡先 090-1590-9469(山本)

## 「京都連絡会」の予定

1月元旦(水) 反弹圧大行動・大阪 連絡先 山本

1月8日(水) きょうとユニオン旗開き  
18:30 希望の家

1月11日(土) 関生支部旗開き 18:00 学労館1

1月16日(木) 18:30~定例街頭宣伝(共同街頭宣伝)  
連絡先 090-4643-2940 増野

1月19日(日) 16:00~19行動 京都市役所前

1月20日(月) 18:30~ No Base1月例会

東山いきいき市民活動センター

沖縄闘争の今・これからと私たち・・・大湾氏

沖縄派遣団報告・・・南野・井上両氏

2月27日(木) 14:00~琉球遺骨返還請求訴訟  
京都地方裁判所 一階大法廷

2020年、前を向いて共に闘おう!